

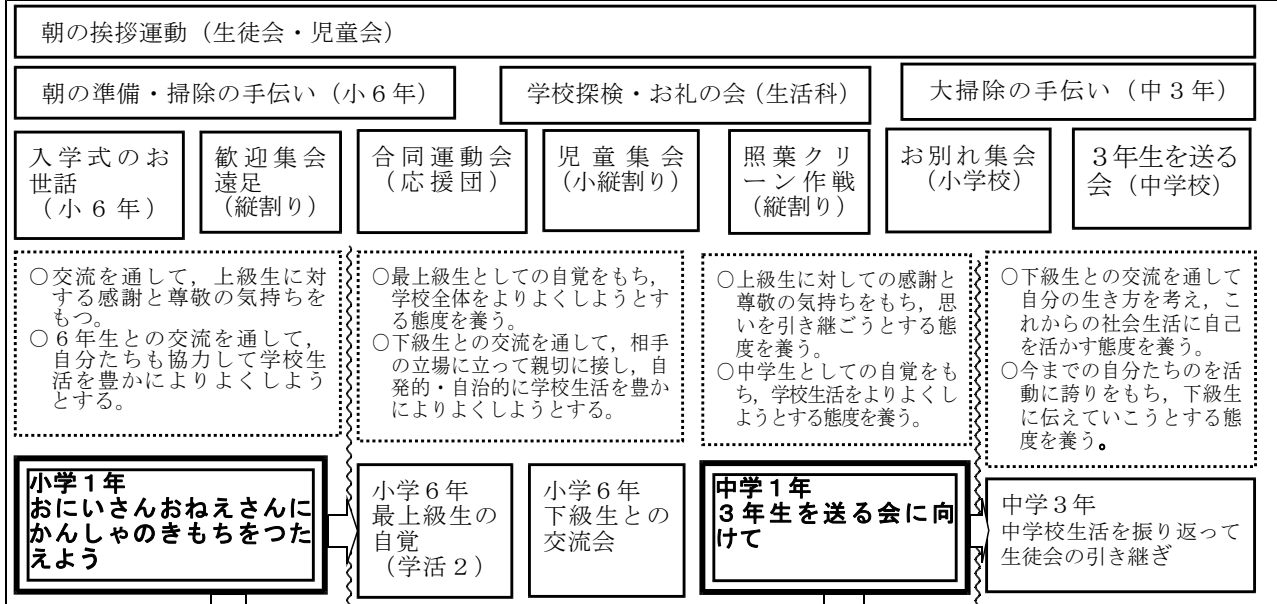
小学校第1学年・中学校第1学年 特別活動共通学習指導案

- 1 活動題** 小学校第1学年…おにいさんおねえさんにかんしゃのきもちをつたえよう
 中学校第1学年…3年生を送る会に向けて

2 9か年の特別活動の到達目標

- 学校の中の異年齢集団との交流を通して、いろいろな年齢の人との望ましい人間関係を築き、学校の一員としての自覚をもち、よりよい学校生活を築こうとする自発的・実践的な態度を育てる。

3 実践する活動の系統



4 活動目標

小学校1年	中学校1年
○ 今までお世話になった6年生に感謝の気持ちをもち、自分たちで伝え方を考え、実践することができる。	○ 中学3年生に対して感謝と尊敬の気持ちをもち、その気持ちを伝え、その意志を引き継ぐことができる。

5 児童生徒の実態

児童の実態	生徒の実態
○ 今までに児童は学級会をする楽しさや、友達の発表の仕方よさについて気付いている。 ○ 今までは、いくつかの意見の中から一つを選ぶ形式の話合いを経験しており、付加修正や複数の意見を統合する話合いは経験していない。 ○ 自分の意見に理由をつけて発表できるのは全体の3分の1程度である。	○ 今までに生徒は様々な課題や取り組みを話し合いを通して解決し、みんなと協力することの必要性に気付いている。 ○ 今までの話合いでは、選択・付加修正・統合の三つの型を経験している。 ○ 自分の考えや理由を書くことができるが、学年が進むにつれ、挙手して発表することが少なくなっている。

6 指導上の課題と手だて

[課題]	[課題]
○ 議題や提案理由に沿った理由をつけた意見を考え発表したり、聞いたりする活動ができる手だてが十分ではない。 ○ 話合いを振り返り、友達や自分の意見のよさを的確に捉えさせることができていない。	○ 生徒自身の発想をもとに、新しいものを作らせる活動が十分ではない。 ○ 様々な企画に対する生徒自身の動機が薄いので、話合いが不十分である。また、自主性を十分に育てることができていない。
[手だて]	[手だて]
○ 友達や自分の意見によさに気付けるように、意見を板書させた後、誰の意見か、めあてのどの視点の意見か分かるように、色板や名札を付ける。 対話する（関連付ける） ○ 的確な振り返りができるよう、視点別に順番に話合いをさせる。 情報交換する（関連付ける）	○ 話合いへの意欲を高めるために、個人ノートに思い出の振り返りを書かせ、これを交流させる。 紹介する（関連付ける） ○ 互いの考えを出し合い協議させるために、同じ案の生徒のグループで簡単なプレゼンさせ、それをもとに討論させる。 協議する（総合する）

7 共通指導計画（小学1年…2時間 中学1年…1時間）

	主な学習活動・内容 <small>は主な振り返り場面</small>	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
お世話になった上級生に感謝の気持ちを伝える	小学1年「おにいさんおねえさんにかんしゃのきもちをつたえよう」 1 事前の活動 (1) 6年生と遊んで、楽しかったことを書き、交流する。(帰りの会) (2) 今までお世話になったことを想起し感謝の気持ちを伝える方法を個人ノートに書く。(朝の時間) 2 事中の活動 (本時) (1) 議題・提案理由・内容を知り、本時の話合いのめあてを知る。 (2) 話合いの柱に沿って話し合う。 対話する (関連付ける) (3) 話合いの振り返りをして、話合いのよさや友達や自分の意見のよさを話し合う。 振り返り 情報交換する (関連付ける) 3 事後の活動 (1) お礼の会の準備をする。(朝の時間) (2) お礼の会をする。(昼休み) (3) お礼の会をして感想を話し合う。(帰りの時間) ○ また6年生と遊びたいな。 ○ 今度は中学生と遊びたいな。	○ 交流して楽しかった思いを書かせたり話し合わせたりすることで、これからの活動につなぐ。 ○ 今まで6年生がしてくれたお世話の内容を掲示することで、感謝の気持ちを強くもたせる。 ○ 議題などを事前にコーナーに掲示する。 ○ 誰が意見を出したか、どの視点の意見か分かる板書をし、次の振り返りに活かす。 ○ 視点別に意見や感想を出させることで、振り返りの内容を明確に押さえることができるようにする。 ○ 朝のミニ学級会で話し合うことで、本時で不十分だったところを補う。 ○ お礼の会の様子を写真で記録したり、会の後、感想を話し合ったりすることで、3学期のお別れ集会につなぐ。	○ 6年生との交流を振り返り、6年生に感謝の気持ちをもつことができる。 ○ 6年生に感謝の気持ちを伝える方法を考えることができる。 ○ 議題と提案理由に沿って自分の意見を言うことができる。 ○ 友だちの意見を最後まで聞くことができる。 ○ 話合いのよさや友だちや自分の意見のよさに気付くことができる。 ○ 6年生に感謝の気持ちを伝えるために、自分の担当の仕事を進んですることができる。 ○ 活動したことをもとに、これからしていきたいことをもつことができる。
	小学6年 「最上級生としての自覚 学級活動(2)」「下級生との交流会の計画を立てよう学級活動(1)」 ○ 小学校の最高学年としての意識をもち、小学校のみんなのためになることをしていきたいという意欲をもつことができる。 ○ 小学校の最高学年として、自分たちは何をしていったらいいか考えることができる。 ○ 話し合ったことをもとに、友だちと協力しながら、実践することができる。 ○ 話合いと実践を通して、よかった点や改善点を振り返り、今後のめあてをもつことができる。		
感謝し、思いを受け継ぐ	中学1年「3年生を送る会に向けて」 1 事前の活動 (1) これまでを振り返り、3年生との思い出を個人ノートに書く。(帰りの会) 2 事中の活動 (本時) (1) これまでの3年生との思い出を交流する。 導入 紹介する (関連付ける) (2) 議題・提案理由・内容を知り、本時の話合いのめあてを知る。 (3) 話合いの柱に沿って話し合う。 協議討論する (総合する) 3 事後の活動 (1) 話合いをもとに、準備をする。(放課後・昼休み) (2) 3年生を送る会で思いを伝え、3年生の思いを聞く。(生徒会活動)	○ 書くことで、行事や部活動で出会った先輩の姿を鮮明にさせておく。 ○ 交流により、3年生への感謝と尊敬の気持ちを高めることで感謝の気持ちを伝えることに意欲をもたせる。 ○ 交流を受けて学級委員から提案させることにより、生徒主体の話合いになるようにする。 ○ 同じ案の生徒でグループを作り提案、協議させる。	○ 3年生に対する感謝の気持ちを伝えようとしている。 ○ 互いの考えを出し合い、感謝と尊敬の気持ちを伝えるための方法を導き出すことができる。 ○ 話し合ったことを実践し、3年生の思いをつかむことができる。
	中学3年「中学校生活を振り返って(卒業にあたって)」「生徒会役員改選に向けて」 ○ 今までの中学校生活を振り返り、周りの人への感謝や下級生に伝えたい思いをもつことができる。 ○ 学校への思いや感謝の気持ちをどのように伝えたらいいか考え、話し合うことができる。 ○ 話し合ったことをもとに、友だちと協力しながら、自主的に実践することができる。 ○ 学校への思いや周りの人への感謝の気持ちをどのように伝えたらいいかつかむことができる。		

最上級生の自覚をもち、実践する。

思いを伝える。感謝する。

8 小学校第1学年 組本時の指導について

(1) 本時 (1/2) 小学校1年 組教室

(2) 本時の目標

- 小学6年生に対してどんな贈り物をしたらいいか話し合い、決めることができる。
- 話し合ったことを振り返りながら、話し合いの楽しさや友達の意見のよさについて気付いたことを交流することができる。

(3) 本時の展開

	学習活動・内容	指導上の留意点 <input type="checkbox"/> は語活動を活性化させる手だて	評価規準
課題把握・見通し	1 議題, 提案理由, めあてを知る。 ① 学級の歌 ② はじめのこぼ ③ 議題と提案理由の確認 議題 6ねんせいにありがとうのきもちをつたえるほうほうをかんがえよう。 提案理由 いろいろお世話になった6ねんせいにありがとうのきもちをつたえてよるこんでほしいから めあての確認 めあて	○ 学級への所属感を高め, 学級目標を意識付けさせるために, 学級の歌を歌う。 ○ 意識付けをさせておくために, 議題提案理由と内容は本時の前に掲示しておく。	
	6ねんせいによるこぶ・・・お世話になった・あそんでくれたおれいにおくりものを1つきめよう・・・おくりものがひとによってちがうのではなく, おなじもの ④ 先生の話 ・入学式学校紹介をしてくれた。 ・歓迎遠足楽しかったな。 ・掃除の仕方を教えてくれたよ。 2 話し合いの柱に沿って, 話し合う。 ⑤ 話し合い 柱: どんなプレゼントがいいか 対話する(関連付ける)	○ 今までの他学年との交流の場面の写真やその時の6年の気持ちを画像を用いて示すことで, 6年生に対する感謝の気持ちを高める。 ○ 前もって個人ノートに考えを書かせておき, 教師がコメントを書いて評価しておくことで, 児童が自分の意見を発表できるようにする。 ○ 理由を書いている場合には◎意見が書けた児童には○, 「いい理由だね」「ぜひ発表してね」どのコメントを書く。 ○ 振り返りの場面で意見のよさが分かるように, 出た意見の上に目当て別に色板をつけたり, 意見を出した児童の名前を掲示していく。(板書計画参照)	○ 個人ノートや掲示物をもとに, どんなプレゼントがいいか考えて発表することができる。(個人ノート・話し合いの様子)
追究・確かめ	⑥ 決まったことの確認 3 話し合いの振り返りをして, 話し合いのよさや友達の意見のよさを話し合う。 ⑦ 話し合いの振り返り 情報交換する(関連付ける) (アの視点) ・いろいろないけんがでてたのしかった。 ・みんなとはなしあってきめることができよかった。 ・てをあげていけんがいてよかった。 (イの視点) ・○○さんが, わけをいったので, わかりやすかった。 ・○○さんがおおきなこえでいっているのがよかった。 ・○○さんは, たくさんいけんをいって, えらいとおもいました。 (ウの視点) ・6ねんせいによるこんでもらえるようなプレゼントをつくりたい。 ・はやくつくりたい。	○ 以下の視点で振り返りをさせることで, 話し合いのよさや, これからの活動への意欲を高める。 ア 話し合いは楽しかったか イ 友だちの意見でよかった意見はあるか ウ ○○に決まって, これからどんなことを頑張っていていきたいか ○ イに関しては, 発表の仕方その他に, 内容のよさも考えさせる。	○ 話し合いのよさや友だちや自分の意見のよさに気付き, これからの活動に対する意欲を高めることができる。(話し合いの様子)
まとめ	⑧ 先生の話 ・6年生のことを考えて喜んでもらえるプレゼントを決めることができましたね。今日は, ○○になりましたが, ○○さんの意見も, とてもよかったです。今日の計画委員さんは, 声も大きく出してよく頑張りました。 ⑨ 終わりの言葉	○ 話の視点を明らかにして, 児童がこれからも意欲的に話し合い活動や実践活動をするように意欲を高める。	

だい五かい がっきゅうかい

ぎだい

六ねんせいにあるがとうのきもちをつたえるほうほうをかんがえよう。

ていあんりゆう

いろいろなおせわになった六ねんせいにあるがとうのきもちをつたえてよろこんでほしいから

めあて

●六ねんせいによるこぶ
 ●アイ◎ ありがとうのきもちをつたえる
 ●おくりものをひとつきめよう。
 ●ひとによってちがうものではなくおなじもの

はなしあいのほしう
 はしう なにつくったういか

くすだま

おもちゃ

ペンダント

名札	名札	名札	名札	名札	名札	名札	名札	名札	名札	名札
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

●きれいだから
 ◎くすだまのなかにてがみをかく
 ●おいわいのときにするから
 ●あそべるから
 ◎よこにメッセージをかく
 ●かわいから
 ●かおしいから
 ●おもしろから
 ●きれいだから
 ●くおびにかけから
 ◎おりがみでかざりをつたり、にがおえをかく
 ◎におえにありがとうとかく

ふりかえり
 ①はなしあいはたのしかったか

いろいろなけんがでてたのしかった。
 みんなではなしあつてきめることができてよかった。

②ともだちのいけんでどんないけんがよかったか

わけをいってわたりやすかった。
 おおきなこえでいっているのがよかった。

③〇〇にきまって、これからどんなことをがんばっていききたいか

六ねんせいによるこんでもらえるようなプレゼントをつくりたい。
 はやくつくりたい。